●平成 31 年／令和元年（2019 年）の世界の主な地震

2019 年（以下、日本時間を基準とする）に人的被害[注]を伴った地震は 22 回(2018 年は 10 回)であり、Mj（気象庁マグニチュード）もしくは Mw(モーメントマグニチュード)7.0 以上の地震は 10 回（2018 年は 17 回）であった。また、Mj もしくは Mw8.0 以上の地震はなかった（2018 年は１回）(図１及び表１参照)。

2019 年に世界で発生した地震のうち、最も規模の大きかった地震は、５月 26 日のペルー北部の地震（図１中の 11）の Mw7.9（Mw は気象庁による）であった。

米国地質調査所（USGS）の統計によると(https://earthquake.usgs.gov/)、M8.0 以上の地震の年間発生回数の平均は１回、M7.0～M7.9 の地震の年間発生回数の平均は約 14 回であり、2019 年の M7.0 以上の地震発生回数は少なかった。

2019 年に死者が 100 人を超える海外の地震はなかった。

（注１）被害状況は、出典のないものは OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。

（注２）USGS の統計については、USGS のサイト内の以下のページから 1990 年から 2018 年までの各年の回数から平均値を算出した。
https://www.usgs.gov/natural-hazards/earthquake-hazards/lists-maps-and-statistics

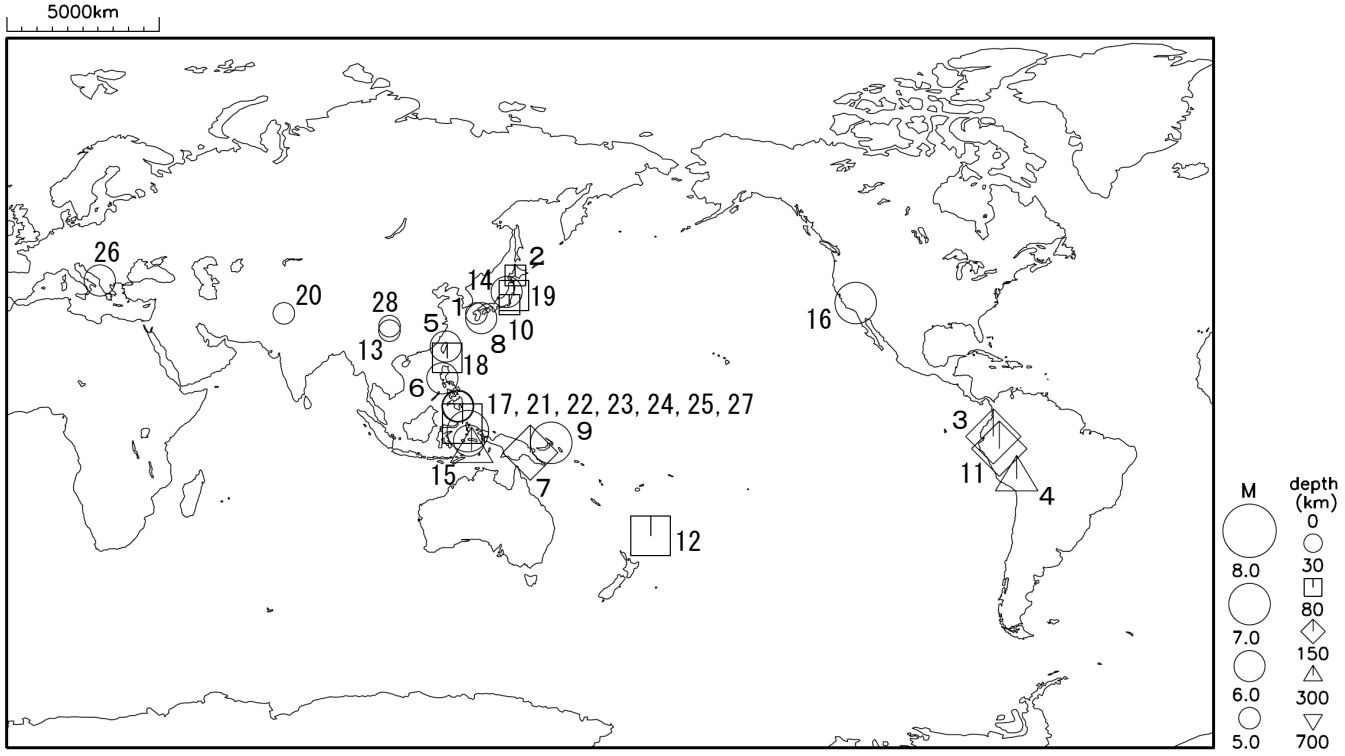

図１　2019 年に世界で発生した M7.0 以上または人的被害を伴った地震の震央分布

*　：震源要素は、１月１日～12 月 31 日は同所ホームページの“Earthquake Archive Search & URL Builder”(http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/)による（2020 年１月７日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、及び一部の規模の大きな地震の Mw（モーメントマグニチュード）については気象庁による（表１参照)。

**　：数字は、表１の番号に対応する。

***：マグニチュードは表１の値を使用している。海外の地震については、Mw（モーメントマグニチュード）を、Mw が決まっていない場合は Mj（気象庁マグニチュード）の値を表示している。

表１　2019 年に世界で発生したマグニチュード 7.0 以上または人的被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ(km)	Mj	Mw	震央地名	備考(被害状況など)	北西	遠地
1	01月03日18時10分	N33° 01.6′	E130° 33.2′	10	5.1	(4.9)	熊本県熊本地方	負傷者４人など		
2	02月21日21時22分	N42° 45.9′	E142° 00.2′	33	5.8	(5.6)	胆振地方中東部	負傷者６人など		
3	02月22日19時17分	S 2° 11.1′	W 77° 03.0′	145		7.5	ペルー／エクアドル国境			○
4	03月01日17時50分	S14° 42.7′	W 70° 09.2′	267		7.0	ペルー中部	死者１人など		○
5	04月18日14時01分	N24° 00.6′	E121° 30.8′	20	6.5	(6.2)	台湾付近	負傷者17人など		
6	04月22日18時11分	N14° 57.2′	E120° 30.8′	22		6.1	フィリピン諸島、ルソン	死者18人、負傷者256人など		
7	05月07日06時19分	S 6° 58.4′	E146° 26.9′	146		7.1	パプアニューギニア、ニューギニア東部		○	○
8	05月10日08時48分	N31° 48.0′	E131° 58.4′	25	6.3	(6.2)	日向灘	負傷者２人		
9	05月14日21時58分	S 4° 03.0′	E152° 35.8′	10		7.6	パプアニューギニア、ニューブリテン		○	○
10	05月25日15時20分	N35° 21.4′	E140° 17.4′	38	5.1	(4.9)	千葉県北東部	負傷者１人		
11	05月26日16時41分	S 5° 48.7′	W 75° 16.1′	123		7.9	ペルー北部	死者２人など		○
12	06月16日07時55分	S30° 38.6′	W178° 05.9′	46		7.3	ケルマデック諸島			○
13	06月17日23時55分	N28° 24.3′	E104° 55.9′	6		5.8	中国四川省	死者13人など		
14	06月18日22時22分	N38° 36.4′	E139° 28.7′	14	6.7	(6.5)	山形県沖	負傷者43人など		
15	06月24日11時53分	S 6° 24.4′	E129° 10.1′	212		7.2	バンダ海			○
16	07月06日12時19分	N35° 46.1′	W117° 35.9′	8		7.0	米国、カリフォルニア州中部			○
17	07月14日18時10分	N 0° 35.1′	E128° 02.0′	19		7.2	インドネシア、ハルマヘラ	死者６人		○
18	07月27日08時37分	N20° 50.5′	E121° 54.2′	31	6.0	(6.0)	フィリピン付近	死者９人など		
19	08月04日19時23分	N37° 42.4′	E141° 37.9′	45	6.4	(6.3)	福島県沖	負傷者1人		
20	09月24日20時01分	N33° 04.6′	E 73° 47.6′	10		5.4	パキスタン	死者39人など		
21	09月26日08時46分	S 3° 27.1′	E128° 22.1′	12		6.5	インドネシア、セラム	死者37人など		
22	10月16日20時37分	N 6° 42.8′	E125° 00.4′	16		6.4	フィリピン諸島、ミンダナオ	死者７人など	○	
23	10月29日10時04分	N 6° 45.2′	E124° 59.1′	15		6.6	フィリピン諸島、ミンダナオ	死者12人など	○	
24	10月31日10時11分	N 6° 54.3′	E125° 11.2′	10		6.5	フィリピン諸島、ミンダナオ	死者10人など	○	
25	11月15日01時17分	N 1° 37.2′	E126° 24.9′	33		(7.1)	モルッカ海	負傷者３人など	○	○
26	11月26日11時54分	N41° 30.8′	E 19° 31.2′	20		6.4	アルバニア	死者51人など		
27	12月15日15時11分	N 6° 42.4′	E125° 11.3′	22		6.8	フィリピン諸島、ミンダナオ	死者13人ほか	○	
28	12月18日09時14分	N29° 38.3′	E104° 56.7′	10		5.2	中国、四川省	負傷者18人ほか		

・震源要素は、１月１日～12 月 31 日は同所ホームページの”Earthquake Archive Search & URL Builder”（http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/）による（2020 年１月７日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
・Mw の欄に下線のあるものは、mb(実体波マグニチュード)で USGS による。
・地震発生時刻は日本時間［日本時間＝協定世界時＋９時間］である。
・被害状況は、出典のないものは OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）、国内は、総務省消防庁による。また、被害状況は、既刊の地震・火山月報（防災編）のデータから更新しているものもある。
・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（※）を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」（https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/nwpta.html）参照。
・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
・深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。